

計画策定に向けたアンケートについて

1 目的

計画策定の基礎資料とするため、市内にお住まいの障がいのある方を対象に、生活やサービス利用の状況、福祉施策に対する考え等をうかがうことを目的として実施する。

2 実施の方向性

(過去に実施したアンケートにおける課題)

- ・ 回答者から、詳細な内容を質問したり質問数が多いことについて、回答に負担がかかりすぎるとの苦情をいただいた。また、アンケート内容が計画にどのように反映されているのか不明瞭な部分があった。
- ・ (支援プラン・18歳以上)
身体・療育・精神の各手帳所持者及び難病患者から、手帳所持者数の割合で按分し、無作為抽出を行った。結果的に、障がい福祉サービスを利用していない身体障がい者手帳を所持する高齢者の割合が多くなり、アンケート結果にも影響を与えることとなった。

(1) 実施方法

計画毎にアンケートを実施する。

アンケート結果を計画へ反映するため、計画に記載する内容に合わせアンケートを作成する。

	計画	ねらい	質問数
ア	障がい者計画	障がいのある方の生活の状況や、療育、就労、安心・安全等に関する幅広い福祉施策に対する考えを把握する。	40問程度
イ	障がい者支援プラン (障がい福祉計画、 障がい児福祉計画)	障がい福祉サービスや障がい児のサービスを利用する方の生活の状況や、サービスの利用状況、福祉施策に対する考えを把握する。	18歳以上 :40問程度 18歳未満 :50問程度

⇒ 分けて実施することで、設問数を減らすことができ、回答者の負担軽減になる。また、計画の内容に沿った対象者に適切な意見を聞くことができる。

例) 災害時のこと、障がい者差別のこと…障がい者計画策定のためのアンケート
日中の通所サービスについて…障がい者支援プラン策定のためのアンケート

(2) アンケート対象者(案)

ア 障がい者計画(2,000人)

対象者	人数	備考
障がい者手帳所有者(身体、知的、精神)	1,626人	身体障がい者は、高齢者の割合が多いため、年齢区毎に数を均等化する
自立支援医療受給者	286人	窓口来庁者に手渡し
難病患者	88人	難病登録者から抽出

イ 障がい者支援プラン(障がい福祉計画 2,000人、障がい児福祉計画 400人)

障がい福祉サービス利用者	1,740人	
難病患者	90人	難病登録者から抽出
視覚、聴覚障がい者	170人	障がい福祉サービス利用者も含む
障がい児通所サービス利用者又は18歳未満障がい者手帳所有者(身体、知的、精神)	400人	

障がい福祉サービスの利用状況や就労の状況、意思疎通支援事業の利用状況等は、調査対象の年齢や障がい種別により違いがあることが想定される。

そのため、調査対象の抽出にあたっては、完全無作為抽出ではなく、母集団をあらかじめいくつかのグループに分けて各グループから無作為で抽出する、層化無作為抽出を用いる。

3 アンケート調査票作成の流れ

- (1) 本専門分科会での意見聴取
- (2) 自立支援協議会から意見聴取(9月)
- (3) 作業部会で検討(9月～10月:者計画、11月～12月:支援プラン)
- (4) 同時期に実施する部内福祉関係計画アンケートと調整
- (5) 調査実施(11月:者計画、1月:支援プラン)